



University of the Ryukyus Library Bulletin Vol.33 No.2 (No.126) Apr. 2000

2000年代に夢をもって羽ばたこう

附属図書館長 石川 友紀

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。2000年代の幕開けの年に、本学に入学されたことを祝福するとともに、世の中が多様化し、スピード化しつつありますので、自分の目標をしっかりもち気を引きしめて大学生活を送って下さい。今年は沖縄県にとって世界の注目を集める一大イベントとして、7月21日～23日に名護市でサミット首脳会議が開かれます。また、10月25日～27日には那覇市で全国図書館大会が開かれます。この全国図書館大会の標語が「万国津

梁の邦沖縄から21世紀へ飛翔～図書館の夢を翼にのせて～」であり、いかにも時代の節目を感じさせます。

わが琉球大学も本年5月22日には創立50周年を迎え、半世紀の歴史をもつこととなります。大学発足当時よりこの附属図書館も存在し、図書館は50年間本学の学生・教員・職員はもちろんのこと、地元県民や日本本土・外国の多くの方々に愛され、親しまれ、よく利用されてきた施設のひとつであります。新入生の皆様も、

目次

| | |
|-------------------------------|---|
| 2000年代に夢をもって羽ばたこう | 1 |
| 新入生オリエンテーション案内 | 2 |
| 琉大附属図書館のホームページへ アクセスしてみよう！ | 3 |
| OPAC検索手順 | 4 |
| Library Workshopへ参加しませんか？ | 5 |

| | |
|--|---|
| 学部授業と連携して図書館情報 リテラシー教育を行う —平成11年度後期授業— | 6 |
| お知らせ | 7 |
| 開館時間の延長について | 7 |
| 平成12年度図書館暦 | 8 |

附属図書館のホームページ (<http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/>) もご覧下さい。

どうかわが家と思って、気軽に研究のため、勉強のため、情報収集などのためにご来館下さい。

ここで、図書館の現状を説明しておきましょう。現在、琉球大学附属図書館は千原キャンパスのほぼ中央に位置する本館が8,456㎡、上原キャンパスの医学部分館が1,404㎡の面積をもち、蔵書数は約90万冊（和書60万・洋書30万）あり、年間2～3万冊増加しつつあります。本学の学術雑誌は1999（平成11）年度現在7,798種（和雑誌4,707・洋雑誌3,091）所蔵し、このうち4,100余種は継続収集しています。一日当たりの入館者数は、本館で平日約1,800人、土・日曜日で約400人、医学部分館で約450人となっています。これをみてわかりますように、わずかな規模で発足した附属図書館は50年前に比べて、はるかに大きくなっていることが実感されます。

近年、社会が高齢化し、高度化・情報化するに従って、図書館に対しても高度で多様なサービスが求められ、大学図書館を取りまく状況も急速に変化しつつあります。一般社会では余暇時間が増大し、生涯学習教育の場として図書館が見直され、公立の図書館が各地域に必要とされています。当館においても、このような地域社会の学習ニーズに応えるため、学外者の利用も認めています。

当館では従来の図書館機能を維持するとともに、社会の情報化・電子化に伴って所蔵資料も

マルチメディアユースの電子資料が増加してきていますので、その対応を考えております。マルチメディア対応施設として、本館に多目的ホール・A V資料室・情報検索コーナー・海外衛星放送受信システムなどの施設設備があります。このようなマルチメディアの利用も含めて、図書館内に電子図書館機能検討委員会や将来構想検討委員会を設け、教員・事務官ともども、鋭意附属図書館のあるべき姿を模索しております。

図書館は情報を収集するとともに、発信をする必要があります。現在、附属図書館は独自のホームページをもっていますが、1997年（平成9）の科学研究費公開促進費（データベース）の交付を受けて、宮良殿内文庫の古文書を画像データ形式で電子化しました。また、1998年度以降3年計画で、琉球方言の音声データベースも作成中であります。

最後に、教育面におきましても、図書館利用者にたいし、電子情報資料の有効活用を含めた情報リテラシー（情報利活用）の習得および自学自習能力の向上などに関する研究・開発・実践を行っています。このように、図書館は多くの機能をもち、たえず利用者へのサービスを心がけていますので、若い皆様がそのハード・ソフト両面を十分に活用し、21世紀へ向けて、夢をもって羽ばたいてほしいと願うしだいです。
（いしかわ ともりのり：法文学部教授・地理学）

新入生オリエンテーション案内

図書館では、下記のとおり、新入生のための図書館オリエンテーションを行います。充実した大学生生活をおくるために、図書館の活用法をガイドしますのでご参加ください。

| | 本館 | 医学部分館 |
|------|---|--------------------|
| 開催日時 | 4月10日（月）～14日（金） | 4月7日（金） |
| ① | 10:00～11:00 | 9:00～9:30 |
| ② | 16:00～17:00 | |
| 集合場所 | 本館1階 多目的ホール | 医学部臨床講義棟 2階大講義室 |
| 内容 | 図書館施設の案内 OPAC、ホームページの利用法 | 図書館施設の案内 |
| その他 | ビデオ「図書館の達人」上映 場所：共同学習室（B室） 11:00～12:00 | |

琉大附属図書館のホームページへアクセスしてみよう!

図書館に入るとまず目に付くのが、サービスカウンターの向かいにある「パソコン」だと思います。今や図書館で情報をGetするための第一歩は、コンピュータで「検索」してみること、と言えるでしょう。

さて、琉大図書館の場合「検索」するための最初のアクセスポイントは、「ホームページ」です。図書館内の「情報検索コーナー」等にあるパソコンでは、すぐに琉大附属図書館のホームページにアクセスできるようになっています。ホームページを見るためには、パソコンの画面にある Netscape か Internet Explorer のアイコンをダブルクリックしてください。

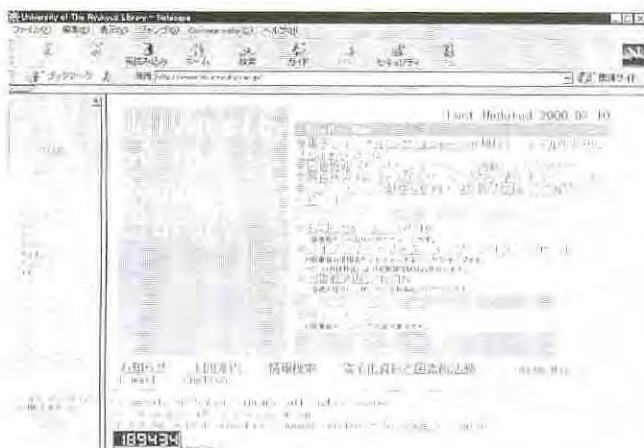


図1 図書館ホームページ

このホームページでは、琉大図書館の蔵書を検索する機能をはじめとして、国内の他大学図書館の蔵書、学術雑誌の記事を検索でき、また学習を進める上で役立つインターネット上の情報源のリンク集などがあります。蔵書や雑誌記事検索については、ホームページから利用手順(いわゆる「マニュアル」)を参照することができます(一部マニュアルがないものもありますが、順次掲載予定です)。

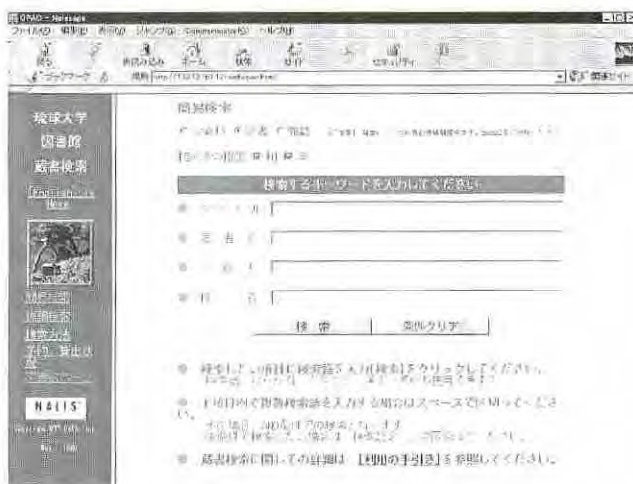


図2 琉大図書館OPAC画面

これは、琉大図書館の蔵書を検索するための目録データベース「OPAC (Online Public Access Catalog「オーパック」と呼びます)」です。このOPACはホームページから提供しているので、特に「WebOPAC (ウェブオーパック)」と言っています。琉大図書館を利用する誰もが必要とするデータベースですので、新入生のみなさんには1日も早く使えるようになっていただきたいと思います。利用法を確実にマスターするためには、琉大図書館では Library Workshop を開催していますので、それに参加して学ぶこともできます。

ホームページは検索機能だけではなく、図書館の開館時間や館内の資料配置、貸出規則などの利用案内や、図書館からのお知らせ、イベント情報も掲載されていますので、こちらの方もご覧ください。

もうお気づきの方もありますが、URL (Universal Resource Locator: インターネット上のホームページの住所)を知っていればインターネットに接続しているどのパソコンからもアクセスできますので、図書館に来ることなしに見ることも可能です。「びぶりお」の表紙に琉大図書館のURLが掲載されていますので、機会があれば図書館外(学内・学外)からもアクセスしてみてください。

=OPAC 検索手順=

目録データベース「OPAC」で附属図書館の蔵書を検索します。

検索手順① 条件入力（簡易検索画面の例）

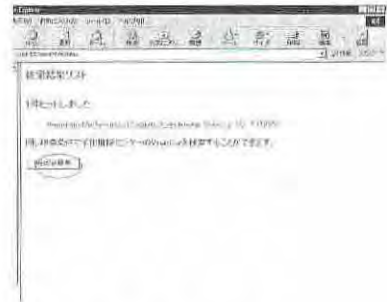
- 1) 検索対象の初期指定（デフォルト）は「全資料」となっている。「雑誌」か「図書」か、検索範囲を指定する時はクリックして指定する。
- 2) 検索条件の入力（キーワードの入力方法）
 - ・前方一致検索は末尾に*を付ける。
 - ・同一項目内でAND検索とOR検索が行える。
 - AND検索はキーワードをスペースで区切って入力（例：外国人労働者については「外国人労働者」）
 - OR検索は|で区切って入力（例：コンピュータについては「パソコン|コンピュータ」）
 - ・漢字、カタカナ、ひらがな、英数字（半角大小文字）が入力可能。
 - ・冠詞、前置詞は使用しないこと。
 - ・日本語入力モードの切り替えは
 - 図書館内情報検索コーナー端末及びDOS/V機。[Alt] + [半角/全角] キーを押す。
 - 上記以外は、利用するパソコンの日本語入力機能を利用。

3) [検索] をクリックする。



検索手順② 検索結果一覧表示

- ・ヒット件数が表示される。
- ・該当する資料名をクリックする。
- ・さらに、同じ検索条件で WebCAT の検索ができる。（注意）OPAC と WebCAT では、入力条件の指定が異なるため、検索結果に相違が出る場合があります。



検索手順③ 所蔵表示（図書）

所蔵と貸出状況が表示される

※[請求記号]=(分類番号+著者記号)は図書の配架場所を示す。

→本館の図書については Book-ID の頭から5桁目が9のとき(0***9_____)は開架閲覧室に、それ以外は書庫に配架されている。

※貸出状況が[貸出中]のときは予約できる。[研究室貸出中]の図書についてはカウンターへ相談してください(当該資料のBook-IDをメモしておくこと)。



検索手順④ OPACからのWebCAT検索結果（手順②を参照）

OPACで入力した条件でのWebCAT検索の結果が表示される。

OPACと検索条件の入力方法に違いがあるので、必要に応じて再検索することに留意する。



Library Workshop へ参加しませんか？

大学生活を有意義に過ごす「キーポイント」の一つに、「図書館の上手な使い方を身につける」ということが上げられます。その理由の一つを上げてみましょう。

高校時代までの学習と違い、大学ではものをとを幅広く、また様々な角度から考察することを教官の先生方は要求します。必然的に、学生のみなさんは自分で情報を収集し、考えをまとめ表現するというトレーニングを繰り返し受けることになるわけです。宿題はもちろん、毎度のレポートやテスト、最終的には卒業研究にあたって準備の段階で大切なのは「情報収集」ですが、それについて図書館はみなさんの「サポーター」としての機能を発揮するのです。つまり、図書館を上手に使いこなせるかどうか、授業をより深く理解したり、効率よくレポートや論文をまとめる上で「差」を付けるポイントとなるのです。

そこで、附属図書館では学生のみなさんに図書館の上手な利用法を身につけてもらうことを目的として Library Workshop を開催しています。そこでは以下のテーマで講座が開設されています。

○ 図書館ツアー

主に、初めて附属図書館を利用する方を対象

として、資料の配置や書庫の利用方法などをガイドします。

○ 図書館利用法

図書館のレファレンスコレクション（辞典・事典や文献を探す索引など）の利用方法についてガイドします。加えてILLサービス（他の図書館に文献の複写を依頼したり、資料を取り寄せるサービス）の利用方法もご案内します。

○ レポート・論文作成のための電子メディア活用講座

コンピュータを利用して、資料の所在や文献情報を効率よく調査できるよう、データベースの利用方法をガイドします。

○ 図書館電子メディア利用のための基礎講座

「レポート・論文作成のための電子メディア活用講座」を受講するにはコンピュータ操作に不安がある、という人向けの講座です。コンピュータの超ビギナー向けです。

以上の講座については、附属図書館の掲示板やホームページ等で詳しい説明・日時等が掲載されていますので、是非参加して図書館をうまく使いこなせるようになってください。



学部授業と連携して図書館情報リテラシー教育を行う

—— 平成11年度後期授業 ——

附属図書館では、平成11年度の後学期に、学部と連携して、ライブラリー・ワークショップを開催しました。

これまで、情報リテラシー教育の一環として、たびたび授業での申込みを受けて1コマ程度のライブラリー・ワークショップを行っていますが、今回は、附属図書館に設置された研究開発室（情報リテラシー教育研究班）の室員でもある、法文学部総合社会システム学科経済学専攻の教官と協力して、経済学専攻「基礎演習Ⅱ」で、5コマの授業を担当して行ったものです。

受講した学生は、3クラス（夜間学生含む）、約80余名で、図書館ガイドからはじまって、OPAC、CD-ROMデータベースやインターネットを通じた文献検索などの説明と実習を行いました。最後の1コマでは、受講学生が各テーマに基づいた文献検索のプロセスを発表し、受講

の成果を披露しました。

今回の授業とのタイアップは、本学における情報リテラシー教育のさらなる展開として位置付けられるもので、図書館ホームページに授業に関するポータル・ページ^{※注}を設けて、学生と教官と図書館が相互に情報を交換しあう場（授業フォーラム）のページや授業に関する諸情報を提供するなど、これまでになかった成果が得られています。

図書館では、今後、他の授業にも参入して情報リテラシー教育を行う予定です。

※注：授業ポータル（サイト）とは、授業に必要なあらゆる情報への総合案内サービスをするサイトをいい、学生が授業を受けたり、教員が授業を行ったりするためにいつも頼りにするような「定番」サイト（ホームページ）をいう。



情報検索コーナーでの実習風景



多目的ホールでの発表風景

図書館暦 (平成12年度)

図書館の年間スケジュールは、下表のとおりです。なお、臨時に閉館または開館時間を変更することがありますので、ホームページ、掲示等にご注意ください。

このほか、休館日としては、定例休館日（原則として毎月第4木曜日：本館のみ）があります。

| | 大学行事等 | 図書館行事等 | 休業期等 | |
|---|--|--|------|----|
| | | | 本館 | 分館 |
| 4月 | ～4日 春季休業 7日 10～14日 20～21日 | 新入生オリエンテーション(分館) 〃 (本館) 九州地区大学図書館協議会 | ★ | ★ |
| 5月 | 22日 開学記念日 | | 休館 | |
| 6月 | | | | |
| 7月 | 25日 31日～ 前期試験 | 長期貸出開始(返却 10/10) | | |
| 8月 | ～4日 前期試験 5日～ 夏季休業 | | ★ | ★ |
| 9月 | ～30日 夏季休業 | | ★ | |
| 10月 | 25～27日 | 全国図書館大会(沖展開催) | | |
| 11月 | 11～13日 大学祭(琉大祭) | | 休館 | |
| 12月 | 12日 26日～ 冬季休業 28日～1/4 年末年始 | 長期貸出開始(返却 1/16) | ★ | ★ |
| 1月 | ～6日 冬季休業 20～21日 大学入試センター試験 | | ★ | ★ |
| 2月 | 6日 13～19日 後期試験 20日～ 春季休業 25～26日 入学者選抜試験(予定) | 長期貸出開始(返却 4/13) | ★ | |
| 3月 | ～31日 春季休業 | | ★ | |
| (注) 通常期は、平日 8:30～22:00 土・日・祝日 13:00～20:00(本館) 土・日・祝日 13:00～18:00(医学部分館) ★は、開館時間の短縮を示す(休業期等) 平日 8:30～17:00 土・日・祝日 閉館 (※分館の9月、2～3月は通常期と同じ開館となります。) | | | | |

▶ 開館時間の延長について ◀

本年2月23日に開催された附属図書館運営委員会において、「開館時間の延長について」以下のよう決定されました。今後とも開館時間の延長に努力していきたいと考えていますので、利用者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

(附属図書館運営委員会 決定事項)

授業期間中における祝日開館(全11日)の実施

なお、9月15日と23日、3月20日の祝日は、休業期のため休館となります。また、祝日法の改正に伴い、祝日開館日は変更されることがあります。

お知らせ

◎ 開館案内 2000年4～6月

| 4月 | | | | | | | 5月 | | | | | | | 6月 | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | | | 1 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | | | | 1 | 2 | 3 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 28 | 29 | 30 | 31 | | | | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |
| 30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

- ・開館時間 通常期：月～金 [黒字] 8:30～22:00 土・日・祝日 [緑字] 13:00～20:00
 休業期：月～金 [青字] 8:30～17:00 土・日・祝日 [赤字] 休館
- ・休館日 土・日曜（春季休業：～4/4） 開学記念日（5/22）
 定例休館日（4/20、5/25、6/22）

※本館では当月、翌月の開館案内（カレンダー）を入り口及び掲示板に掲示しています。
 ご留意ください。（年間の開館案内はホームページをご覧ください）

◎韓国衛星放送（KNテレビジョン）の放送サービス開始

附属図書館3階の留学生コーナーに、海外衛星放送受信システムが設置されていますが、2000年2月1日より、多くの留学生からの要望のあった韓国衛星放送（KNテレビジョン）の受信サービスを開始いたしました。

KNテレビジョンは、韓国の各テレビ局（KBS、MBCなど自局を含め9局）から特に人気のある番組を厳選して供給しています。チャンネルは331チャンネルです。

韓国と日本の交流が急速に進展しています。今回の韓国衛星放送サービスの開始は、いろいろな意味で利用者のお役にたつものと期待しています。

琉球大学附属図書館報 “びぶりお” 第33巻 第2号（通巻第126号）
 平成12年4月1日発行

発行：琉球大学附属図書館 〒903-0214 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
 電話 098(895)8168 Fax.098(895)8169

発行人：附属図書館事務部長 伊藤祐三 編集：“びぶりお”編集委員会